

## 地域の障がい者雇用促進へ ～企業間連携会の取り組みについて～

- 鬼東 幸佑（GMOドリームウェーブ株式会社 マネージャー）
- 西 晶子（GMOドリームウェーブ株式会社）
- 井上 由華・鈴木 理子（GMOドリームウェーブ株式会社）

# GMO INTERNET GROUP

会社名	GMOインターネットグループ株式会社
代表者	熊谷 正寿
設立日	1991年5月24日
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
資本金	50億円
売上高	2,414億円
従業員数	7133名 ※グループ合計

## すべての人にインターネット

インターネットインフラ事業



人の暮らしと産業を支える、インターネットの「基盤」を提供

インターネット広告・メディア事業



伝える、広める、集める。インターネットを介した「コミュニケーション」

インターネット金融事業



インターネットで自由で便利な「金融」を提供

暗号資産（仮想通貨）事業



世界の「お金」をゼロベースにする。新しい通貨

2022年10月現在

# GMO DREAM WAVE

会社名	GMOドリームウェーブ株式会社
代表者	橋口 誠
事業開始日	2017年9月1日
所在地	宮崎県宮崎市老松2-2-1 GMO hinataオフィス
資本金	3,700万円
従業員数	34名（うち、障がい者28名）
認定	特例子会社 第Ⅱ種 雇用環境整備適性事業者



2022年10月現在

# 課題と取り組み

# 取り組みの背景



<p>① 支援者のスキル向上の 難しさ</p>	<p>✓研修や育成機会が少ない ⇒企業内・個人でのスキルアップ には限界がある</p>	<p><b>障がい者雇用を 促進している企業で 集まる場を創出</b></p> <p>▼スキル向上 ・研修 ・ケーススタディ</p> <p>▼相談できる場や関係性構築 ・支援の悩みを共有・相談</p>
<p>② 支援者の孤立感</p>	<p>✓障がい者雇用をしている企業 間の交流が少ない</p> <p>✓支援の悩みを共有・相談する 相手や場が限られる</p>	

## 具体的な取り組み

SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）  
宮崎県立地企業合同開催

Hinata障がい者雇用推進ネットワーク

# SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）

## 宮崎県立地企業合同開催

目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・障がいをもつパートナーのコミュニケーションスキル向上</li><li>・支援者の支援スキル向上</li><li>・企業の枠を超えた支援者同士の繋がり醸成</li></ul>
参加企業	宮崎県で障がい者雇用を行う企業6社
実施 期間・回数	2021年2月～7月 -パートナー研修：1回 （研究員から参加者に向けたSSTの意義やセッション方法の説明） -SSTセッション：5回
参加者	▼障がいのあるメンバー 各社から1～2名 計6名 ▼支援者 各社の支援担当 計11名

# SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）

## 宮崎県立地企業合同開催

### 実施方法

#### day1：本セッション

- ・参加企業合同で実施
- ・障害者職業総合センター研究員がリーダーとして進行（支援者は見学）
- ・目的：障がいをもつパートナーのコミュニケーション力向上  
支援者の障がいのあるメンバーへの関わり方の向上

#### day2：ブースターセッション

- ・各企業毎に実施
- ・各企業の支援員がリーダーとして進行
- ・目的：各社ごとにSSTの展開、復習  
リーダーを経験することによる支援者の支援スキル向上



## Hinata障がい者雇用推進ネットワーク (略称：Hinataネット)

目的	宮崎県の障がい者雇用促進 -支援者のスキル向上 -支援者間の交流による心理的不安の軽減
参加企業	宮崎県で障がい者雇用を行う企業7社
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・会社紹介</li><li>・ケーススタディ →参加企業が持ち回りで事例提供</li><li>・意見交換</li></ul>
開催頻度	3ヶ月に1回（2022年8月時点で4回実施）
開催方法	オンライン開催

# 取り組みの結果

# SSTの取り組みに関するアンケートの結果

Q1 : SST研修後の支援者と参加したメンバーのスキルについて

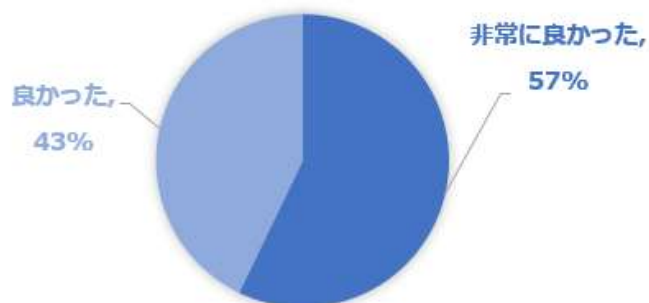
SST効果(支援者のスキル)



- ・実際に（SSTセミナーを）見ることで**有効性を現場で確認しながら進めることができた**

- ・**具体的かつ肯定的に伝えることでメンバーのやる気を引き出すことができた**

SST効果(参加メンバーのスキル)



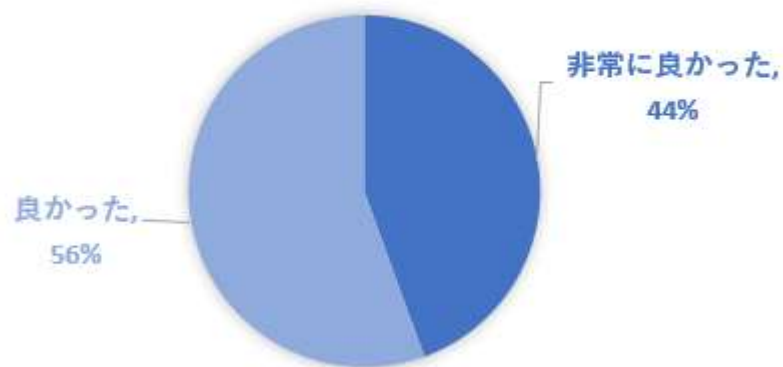
- ・**自然に褒める言葉が出ている**

- ・回を追うごとに、**参加メンバーのスキルが伸びていく様子がよくわかった**

# Hinataネットの取り組みに関するアンケートの結果

Q1 : Hinataネットの満足度について

Hinataネットの満足度



・ 自社の障がい者雇用環境改善のノウハウ構築につながっている

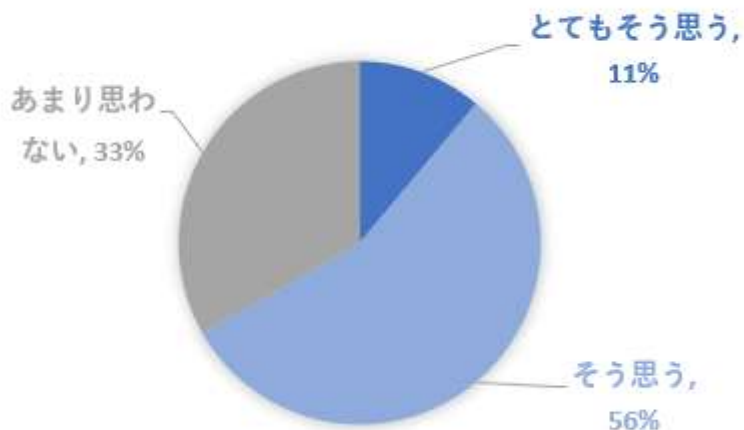
・ 各社の障がい者雇用の取り組みや状況を聞くことで、**安心感を得たり励みになっている**

・ **オンラインではなく、オフラインで開催できると、障がい者雇用に関する雑談もでき、より満足度が上がるように感じる**

## Hinataネットの取り組みに関するアンケートの結果

Q2 : Hinataネットの実施により、企業間の連携は強化されたか

企業間の連携は強化されたと思うか



- ・以前よりも『何かあったらHinataネットで相談しよう』や『この件はA社に相談してみよう』と**気軽に考えられる**ようになった

- ・支援者として**情報共有**いただけている事が**非常にありがたい**

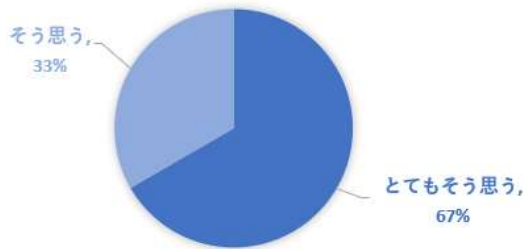
- ・個人的に『**相談できる**』関係はまだ**築けていない**と感じる

- ・現時点では『**会があるから集まる**』と**受動的な部分**が大きい

# Hinataネットの取り組みに関するアンケートの結果

Q3 : 今後もHinataネットを継続したいと思うか

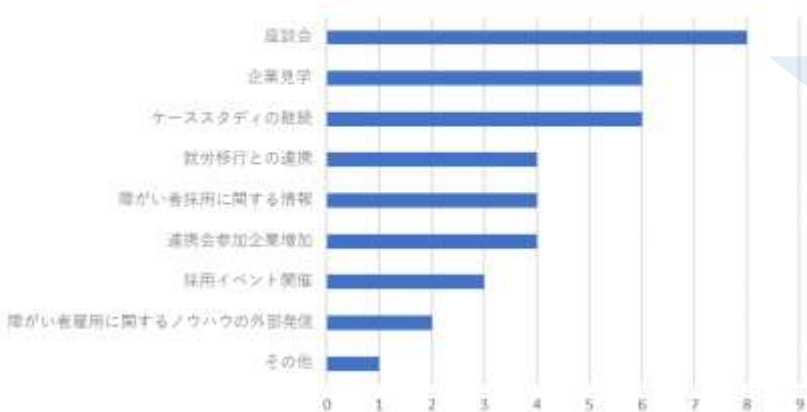
今後も継続していきたいか



- ・宮崎県で働く障がいをもつ方のために宮崎をもっと良くしていこうと動く会の存在は必要
- ・視野を広げることができる

Q4 : 今後どのようにHinataネットを展開していきたいか

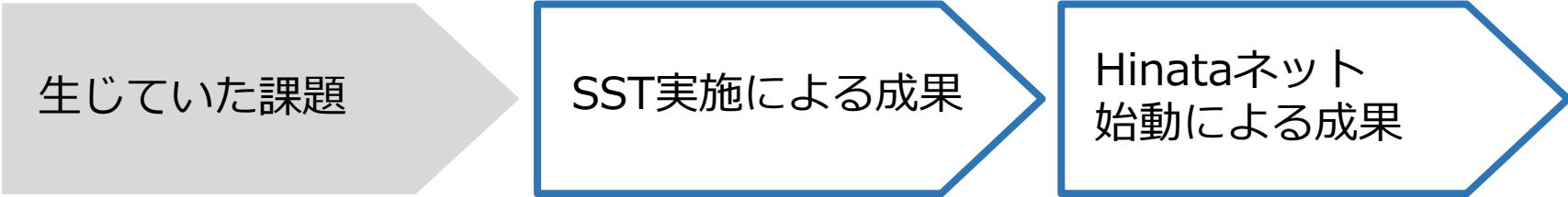
今後どのように展開していきたいか（複数回答可）



1. 座談会
2. 企業見学 / ケーススタディ

# まとめ

# 障がい者雇用の支援における課題と取り組みの成果



<p>① 支援者のスキル向上の 難しさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーションスキル向上</li> <li>・ 支援スキル向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各社支援の充実</li> </ul>
<p>② 支援者の孤立感</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Hinataネット設立のきっかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談しやすい関係の構築</li> <li>・ 支援者のストレス、負担軽減</li> </ul>



## SSTの課題と対策

### 課題

継続的な実施  
(SSTを行う人員・時間の確保が困難)



### 対策

簡易的なSSTの実施  
⇒実施方法についてHinataネットで見聞交換

## Hinataネットの課題と対策

### 課題

成果として相談できる関係が構築できているものの、一部では「まだ関係は築けていない」と感じる参加者がいる



### 対策

- ①座談会、見学、ケーススタディの継続
- ②運営持ち回りによるコミュニケーションの増
- ③オフラインでの開催

## 今後の展望

雇用の推進に向けた直接的な働きかけ

支援機関との連携

採用イベント

他企業との連携

各社の雇用推進

宮崎県全体の障がい者雇用推進

すべての人にインターネット

**GMO**